

平成26年度 決算

介護保険特別会計決算

■問い合わせ先 介護保険課介護保険係 ☎(36)4877

平成26年度の歳出決算額は、66億4,889万円（前年度比2.7%増）で、これに対して歳入は、介護給付費準備基金（*1）を4,728万円繰り入れて、歳入決算額を66億8,392万円（前年度比2.7%増）としました。

歳入から歳出を差し引いた3,503万円は、国・県・支払基金からの超過交付金のため、平成27年度に繰り越した上でそれぞれ返還します。

歳入は、医療保険に上乘せされる第2号（40～64歳）保険料をもとにした支払基金交付金が27.5%で最も大きく、第1号（65歳以上）保険料は20.3%、国・県・市の負担金は合わせて50.7%でした（グラフ1参照）。

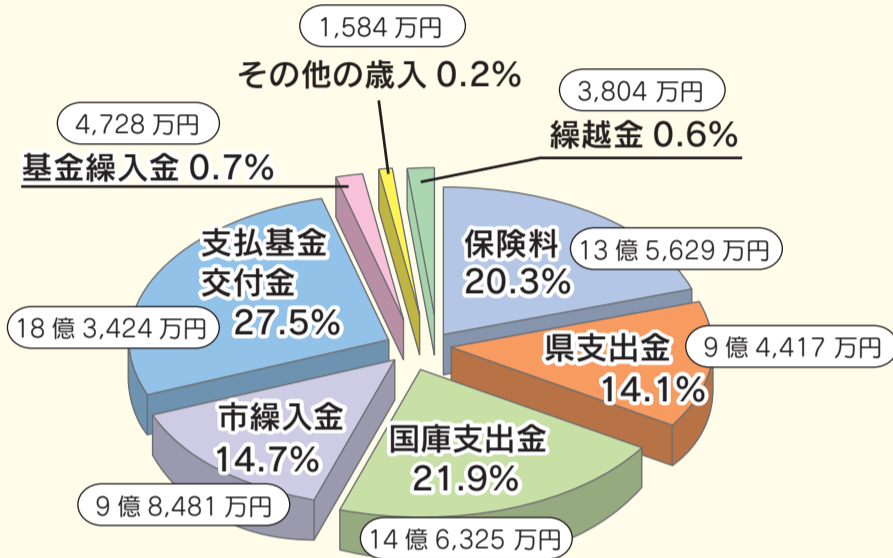
歳出は、保険給付費が94.2%、保険給付以外に市が実施する地域支援事業の費用が2.4%で、歳出のほとんどを占めています（グラフ2参照）。

このようなことから、給付費や地域支援事業費が増加すると、みなさんが納める保険料や国・県・市の負担金が増加することになります。

*1 介護給付費準備基金＝市では、計画期間内の急激な給付費増などに対応できるように、計画期間の保険料の黒字などを介護給付費準備基金として積み立てています。基金残高がある市町村は、できる限り取り崩して保険料の軽減に活用するものとされています

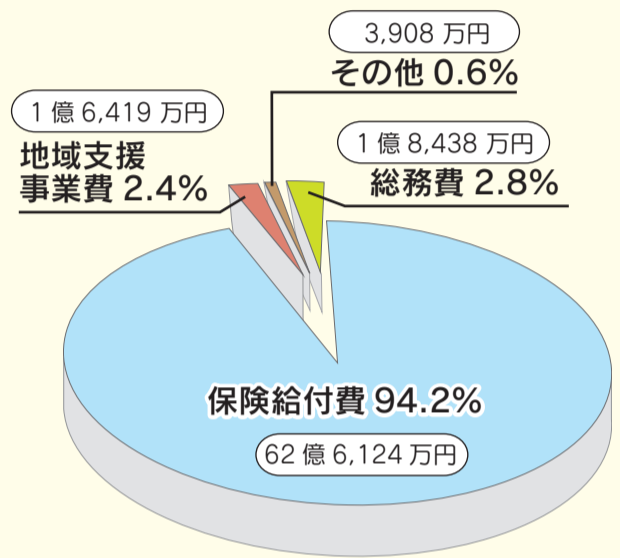
【グラフ1】

歳入 66億8,392万円



【グラフ2】

歳出 66億4,889万円



第1号（65歳以上）被保険者の保険料とその使い道

第1号被保険者の保険料の算定の基となる総費用額は、グラフ2のうち、保険給付費と地域支援事業費の合計額です。その他の支出は保険料と関係なく一般会計などで賄っています。

総費用額は、その50%を公費（国、県、市）、21%を第1号被保険者の保険料、29%を第2号被保険者（40～64歳）の保険料で賄います。

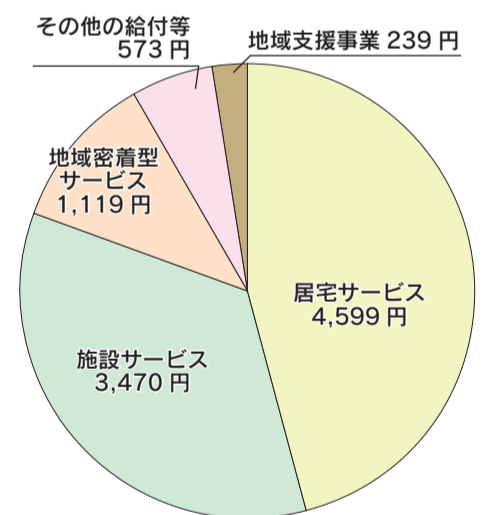
総費用額64億2,543万円のうち、1号被保険者の保険料で賄うべき額は、21%の13億4,934万円ですが、これに、調整交付金・給付費返納金の影響などを加味して14億279万円となりました。

平成26年度の1号被保険者の保険料の収納率は、現年度分99.3%、滞納繰越分41.8%、収納額の合計は13億5,629万円で、差引4,650万円の赤字になりました。この不足分と、過年度の保険料の還付金との合計額4,728万円を準備基金からの取り崩しで補っています。

第1号被保険者が負担する1万円当たりの費用は、グラフ3の通りです。在宅で利用する居宅サービス（訪問介護や通所介護など）が最も多く、次いで施設サービス（特別養護老人ホームなど）となっています。

【グラフ3】

保険料1万円当たりの使い道



市では、高齢者人口の伸びとともに、介護給付費は増加していくと見込んでいます。健全な介護保険制度の運営のために、県が定める給付の適正化計画の取り組みを実施していきます。今後も、みなさんの理解と協力をお願いします。



宝くじの収益を地域活動の発展に活用

内容 河東地区コミュニティ
 宝くじの収益を地域活動の発展に活用
 問い合わせ先 教育政策課 ☎(36) 5099

「学校のロ」に道徳と学級活動の様子を公開
 内容 この公開は、豊かな心を育む教育活動の推進を目的としています。ぜひ見に来てください。（左表参照）

日程	内容	学校名	開始時間
11月10日（火）	道徳	南郷小	13:50
		日の里東小	14:15
		中央中	14:20
		自由ヶ丘中	11:55
	学級活動	河東中	12:00
		大島小	10:55
		大島中	11:40

*年間予定表は市HP <http://www.city.munakata.lg.jp/> ↓「教育・文化・スポーツ」↓「教育」↓「市立小中学校」↓「毎月10日は学校の日」で確認を

*公開日時が変更になる場合あり。市HP(前述)で確認を
 *授業内容は直接学校に問い合わせを
 *他の小・中学校は通常授業を公開



ニティ運営協議会では、宝くじの助成金を活用し、屋外用アルミステージを購入。この宝くじ助成金は、財団法人自治総合センターが実施する一般コミュニティ助成事業によるもの。目的は、宝くじの受託事業収入を財源にした地域活動の健全な発展。購入したアルミステージは、コミュニティや自治会のまつり（ステージ発表、参加型のイベント）などに活用
 問い合わせ先 コミュニティ協働推進課 ☎(36) 5394